◆伊藤洋二　選　～「諳んじたい俳句８８」～

鷹羽狩行(監修) 片山由美子(文) 石飛博光(書) 二〇〇五年　日本放送出版協会

「諳んじたい俳句８８」は、古今の名句八十八句が掲載されている。私の愚稿に使わせて頂くにはもったいなく、また滑稽句だけではないが、誌面をお借りして順次ご紹介していきたい。

つくづくと寶はよき字宝船　　後藤比奈夫

宝船といえば、七福神。七難即滅七福即生を授ける大黒天、毘沙門天、恵比寿天、寿老人、福禄寿、弁財天、布袋尊。幼いころに遊んだ四国霊場第六十三番札所「吉祥寺」の本尊は毘沙門天さん(当寺では〝毘沙聞天〟と表記)で、八十八箇寺では唯一、本寺のみである。本書を図書館で手にしたのも有り難きお陰かと「つくづくと名句はよき師よき手本」。

元日や手を洗ひをる夕ごころ　　芥川龍之介

「人生は一箱のマッチに似ている、重大に扱うのはばかばかしい、重大に扱わねば危険である」(『澄江堂主人』)。一箱を一年とみて元日は最初の一本を擦る重大な日。三六五本の一本一本が、平穏無事に燃えてゆきますよう。私の本年、元旦の所感は、以下の三つ。①温故知新で昔のレコードの鑑賞、②油絵の再開、③浪曲・虎造節で健康増進！

永き日のにはとり柵を越えにけり　　芝不器男

今年は十二支の〝酉〟で、十干では〝丁〟の〝丁酉(ひのととり)〟。還暦の三十四番目の年だとか。ネズミの小生は柵の下からもぐり込んでも、「俳句の醍醐味」に齧りついていきたい。さて、六十年前は、一九五七年(昭和三十二年)。フランク永井さんの「有楽町で逢いましょう」が懐かしい。

鞦韆は漕ぐべし愛は奪ふべし　　三橋鷹女

鞦韆(しゅうせん)はブランコのこと。何と強烈な〝べし〟なのか。がしかし〝奪ふ〟は〝奪はれる〟が存在する。その現実が「愛」なのだ。私は経験不足

滑稽俳句協会ホームページ掲載の画像及び、データの無許可転載はお断りします。

で良く判りませんが、何と過酷な世界なのか。これまで批評を気にして自由奔放な句が出来なかった…。そうだこれを機に「自由人」になろうかな。

晴れぎはのはらりきらりと春時雨　　川崎展宏

はらりきらりは自立語の活用しない「状態副詞」。兄弟語は、そよそよ、ざあざあ。春時雨を引き立てているかにみえて堂々と主張して居り、心地よいリズム感がある。ここで、俳句の国際化に挑戦。かたこと英語にて御免。「晴れぎわの lightly　softly と春時雨」。ＨＩＡ国際俳句交流協会のホームページに、八木健会長が館長の「俳句美術館」のサイトを発見し、〝赤尾の豆単〟で単語復習中。

川底に蝌蚪の大国ありにけり　　村上鬼城

現在、日本が承認している国の数は、一九五か国。その中には、経済大国、軍事大国、福祉大国、消費大国等、様々ある。その分類でいけば、蝌蚪（おたまじゃくし）の世界には、〝鰓（えら）大国〟と〝肺大国〟の二つがある。二つの大国を生き抜く両生類の生命力に圧倒されるが、人間も臍の緒のあった時期と無い時期を生きているのだ。

神田川祭の中をながれけり　　久保田万太郎

神田祭は、各町内の御輿が花のお江戸をお囃子にのせてソイヤソイヤと練る。洗練された江戸言葉が心地よく響く。そして神田川は、ルンルン気分で東に流れる。初めて東京で生活した時、生粋の〝伊予弁〟は通じなかったが、語尾に「〇〇サー」とつけて喋っては得意がった。それから地方転勤を重ねて〝ミックス弁〟となり今日に至る。

天上も淋しからんに燕子花　　鈴木六林男

燕子花(かきつばた)とは、巣立ち間近の若燕を模す何と素晴らしい季語なのだろう。やがて親離れし、一人立ちしなければならない時が迫りくるが、我関せず餌を強請る。カキツバタは、「書き付け花」に由来し、書き付け（擦りつけ）て花の汁で布を染めたのだそうだ。燕も、まさに天上を描くように巣立って行くのである。

滑稽俳句協会ホームページ掲載の画像及び、データの無許可転載はお断りします。

愛されずして沖遠く泳ぐなり　　藤田湘子

歌手：石原裕次郎、作詞：大高ひさを、作曲：野崎真一。昭和四十一年の名曲、「夜霧の慕情」。今宵、唄いますのは伊藤洋二。♪愛しても愛しても愛しきれない君だったぁあ～♪　筆者の持ち歌です。そこまで愛せる人がいた、また愛された人がいた。いいねえ。求めても得られないとか、追いかけて捉えて欲しい女心の遣る瀬無さなんかもいい。ともかく、いくつになっても、ときめきは大切です！

ゆるやかに着てひとと逢ふ螢の夜　　林　信子

趣味で始めた浪曲の口演で、和服を着る機会があり、〝貝の口〟と云う帯締めも習った。昨年五月、浅草・木馬亭で第六回虎造節全国大会があり、玄人さんと同じ舞台に立つ恍惚感に病みつきである。大会当日、着付の先生に着物を直して頂いた時、子どもの頃に母親に着せられた浴衣の柄が蘇った。

滑稽俳句協会ホームページ掲載の画像及び、データの無許可転載はお断りします。